

道づくりだより

第57号 2012.11 島根県道づくり調整会議



- Contents -

1. 第7回「松江だんだん道路」現場見学会を開催しました（道路建設課）
2. 山陰自動車道（福光～江津間）における道路計画に関するアンケート調査（高速道路推進課）
3. 今冬の除雪体制について（道路維持課）
4. 江津駅前の再生に向けて～まちづくりみちづかいワークショップを開催しました～（都市計画課）
5. 萱野根波基幹農道と安能広域農道が部分開通しました（農地整備課）

第7回 「松江だんだん道路」現場見学会を開催しました

松江第五大橋道路事業「松江だんだん道路」では、平成24年3月24日に開通した松江JCT～西尾IC間約2.6kmに引き続き、残る西尾IC～川津IC間約2.6kmの来年春の全線開通を目指し工事を進めています。今回、工事中では最後となる現場見学会を11月25日(日)に開催したところ、家族連れなど43名の参加がありました。

当日は天候に恵まれ、参加者は、まだ開通していない道路を歩きながら、工事の進捗状況を確認したり、開通後は歩いて見ることができない自動車専用道路からの眺めを楽しんでおられました。



和久羅トンネル



紅葉の和久羅山



小さいお子さんも参加



2.6kmを歩きました

山陰自動車道（福光～江津間）における道路計画に関するアンケート調査

計画段階評価を実施している山陰自動車道（福光～江津間）について、手続きの一環として、地域の方々や道路利用者の方々からのご意見をお聞きし、道路計画に反映するためのアンケートが現在行われています。

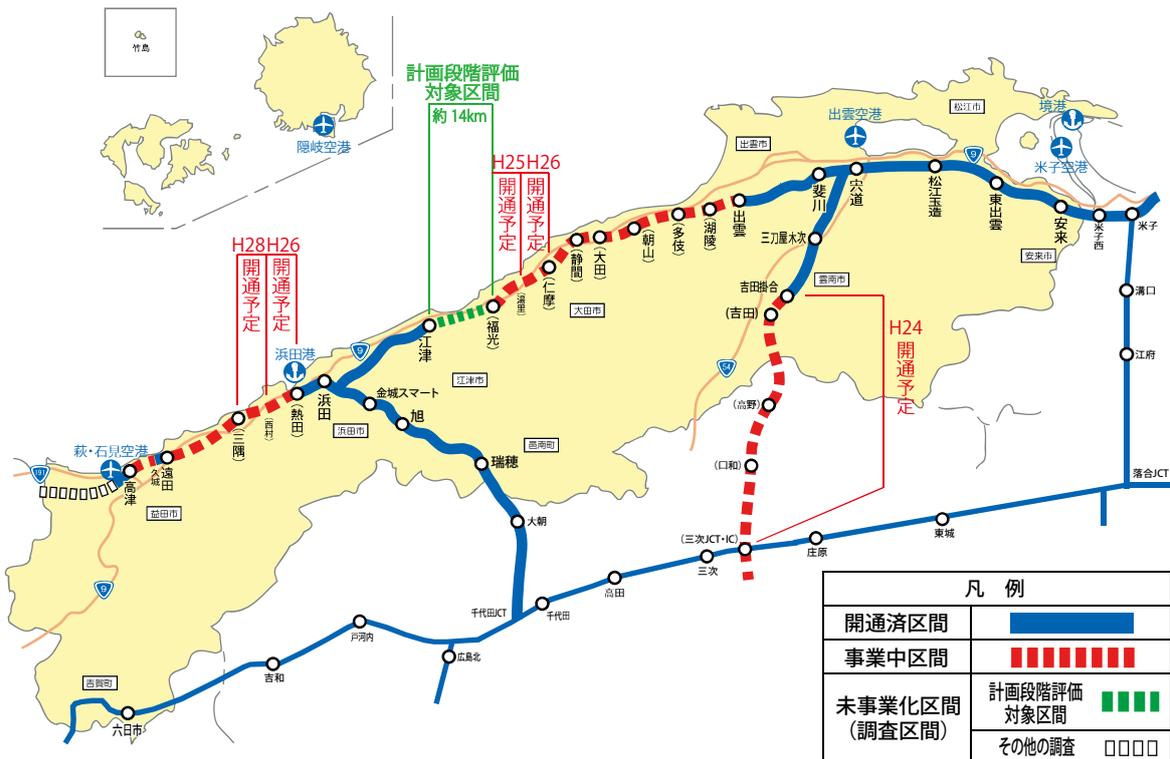
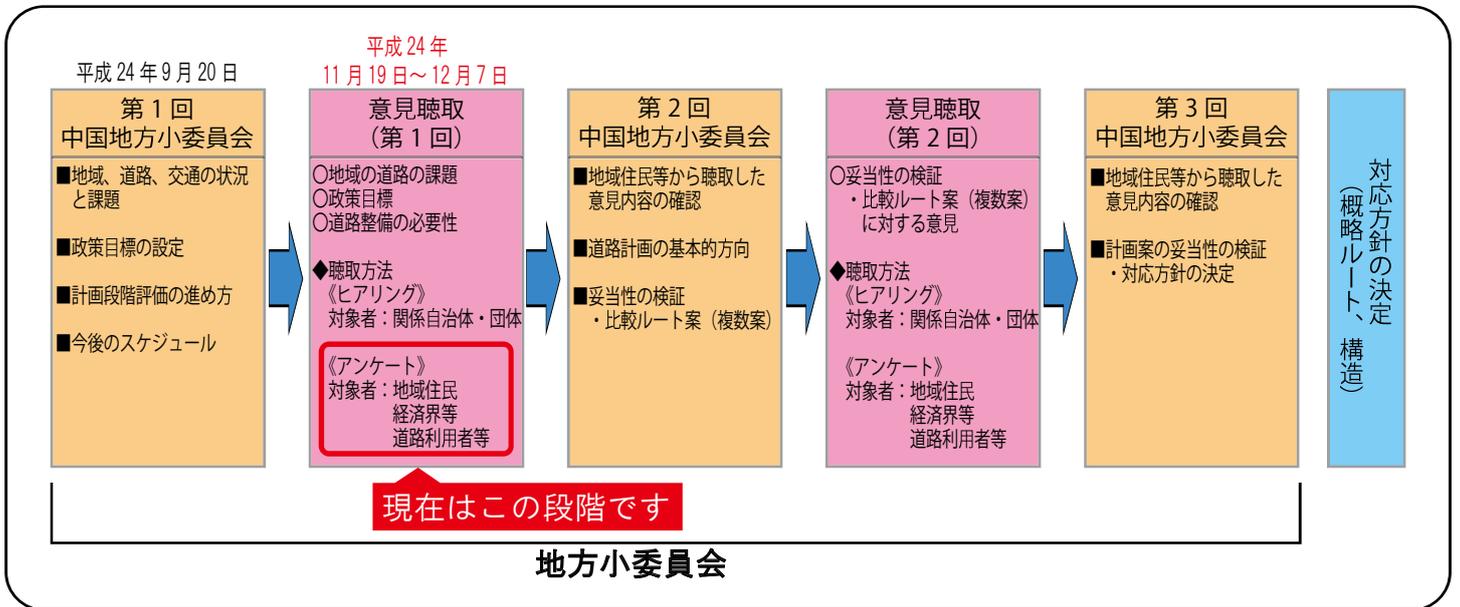
アンケート調査は2回行われ、現在行われている第1回アンケートでは、道路利用者の方々の日頃感じられている道路交通面での課題や課題を解消するための今後の方向性などについて、ご意見をお聞きしています。また、今後行われる第2回アンケートでは、地域の課題を解消するためにふさわしい対策案についてお聞きする予定です。

第1回アンケートは12月7日（金）まで行われています。

WEB アンケートアドレス：<http://www.cgr.mlit.go.jp/hamada/sanindo/research/>

（浜田河川国道事務所ホームページ内）

※アンケートのチラシは道の駅、観光地等でも配布されています。



今冬の除雪体制について



【今年度の除雪体制】

○島根県全体で234路線2,917.8kmを県保有機械178台(うち除雪機械109台、凍結防止剤散布車(機)45台、歩道除雪車24台)と、業者保有機械318台で除雪を行います。
また、豪雪時には国、県、市町村が互いに協力して除雪を行う、連携除雪体制を整えています。

【冬期道路情報について】

○今年度も12月4日から島根県のホームページより、冬期道路の気象データやカメラ画像を公開します。気象データは10分、カメラ映像は5分間隔で更新します。

◇島根県道路カメラ情報◇

島根冬期

携帯版はこちら→



◇島根県道路情報Twitter◇



○島根県道路情報Twitterでは、異常気象や災害時における道路情報、注意喚起情報などを随時提供しています。

江津駅前の再生に向けて ～まちづくり みちづかいワークショップを開催しました～

江津市と島根県では、江津駅前のにぎわい再生のため、”駅前拠点施設”と”あけぼの通り”など周辺道路を一体的に整備します。

その整備計画づくりのため、H24.7月から住民参加の「江津駅前 まちづくり みちづかい ワークショップ」を開催しました。



駅前地区整備イメージ

★江津駅前 まちづくり みちづかいワークショップ★

沿道住民、商業者、NPO（てごねっと石見）、建築士会、地元高校生など、毎回約50名の方々に参加して頂いた本ワークショップでは、各回以下のテーマに沿って活発な議論が行われました。

- 第1回「駅前地区の現状を把握し、将来のイメージをひろげよう」
- 第2回「あけぼの通り・広場で何がしたいか、使い方を考えよう」
- 第3回「プランをまとめよう」

10月17日に開催した第3回ワークショップ（最終回）では、これまで議論してきた”通りと広場の使い方”を基に、島根県と江津市で作成した、「あけぼの通りと駅前拠点施設広場のプラン（基本設計）」について、図面やイメージ模型を使いながら、参加者のみなさまに確認をしていただきました。

今後、本ワークショップの成果をもとに、実施設計を行っていきます。



あけぼの通りの現状（H22.7.8撮影）



第3回ワークショップの様子



第3回ワークショップで使用したイメージ模型

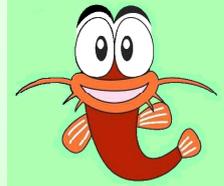
かやのねば やすのう
萱野根波基幹農道と安能広域農道が部分開通しました!!

かやのねば
萱野根波基幹農道

萱野根波基幹農道は、雲南市掛合町萱野と同市三刀屋町深谷・根波を結ぶ延長約3.5km、全幅員5.0mの1車線の農道で平成18年度から整備を行っていますが、去る8月に全長約3.5kmのうち掛合側(1工区)の約1.8kmが開通しました。

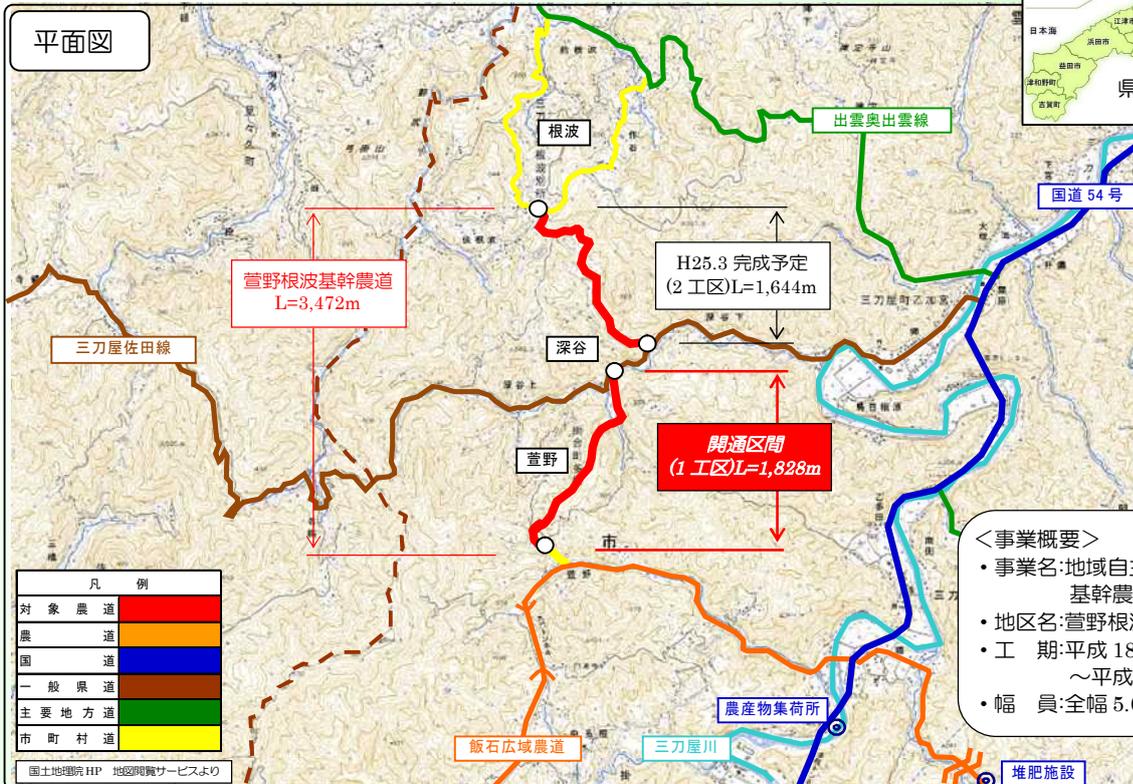
残る三刀屋側(2工区)についても、平成25年3月の完成を目標に工事を進めています。

本農道の整備により、深谷・根波集落の農産物及び有機肥料の輸送が最短で行えるよう飯石広域農道までが連絡され、また、本農道周辺の集落から出雲市街へのアクセス性も向上することから生活環境の改善も期待されます。



『しまねの農業農村整備
 すころく』キャラクター
 ドジョウのどうじょ君

萱野根波基幹農道(雲南市)



開通区間の様子



やまのろ
安能広域農道

安能広域農道は、安来市の伯太町と広瀬町の中山間部を東西に結ぶ延長約 10.9km、全幅員 7.0m の 2 車線の農道です。

本農道の周辺地域では、無農薬無科学肥料で栽培した「どじょう米」の生産拡大や、バイオマスリサイクルセンターの活用による資源循環型地域社会の実現を目指した取り組みが行われていますが、本農道の整備により、これらの農産物・資材等の輸送にかかる労力と時間の軽減・短縮や地域間の交流人口の拡大による地域の活性化などが期待されます。

本農道は、整備完了区間から順次供用を開始しながら事業を進めており、去る 10 月に国道 432 号菅原広瀬バイパスから市道までの区間約 1.4km が開通しました。

今後残る主要な工事としては、トンネル 2 箇所の施工となりますが、平成 28 年度の全線開通を目標に工事を進めています。

安能広域農道(安来市)



- <事業概要>
- ・事業名：道整備交付金（広域農道整備）
 - ・地区名：安能地区、安能2期地区
 - ・工期：平成11年度～平成20年度【安能】
平成20年度～平成28年度(予定)【安能2期】
 - ・幅員：全幅7.0m,車道5.5m

開通区間の様子

